

令和元年度業務実績評価にかかる論点整理表

(教育研究の項目)

番号	年度計画	実施状況等	委員コメント	評価委員会 コメント
21105	〈適切な選抜の実施〉 学内推薦、機関長推薦など多様な入試制度を募集要項等により学内外に周知し、定員充足に努める。	平成 29 年度から開始した社会人推薦入試（4 年制看護大学を卒業した者を対象）については、大学院へ入学する者の大半が社会人であることや学部入試との混同を避けるため、平成 30 年度に「機関長推薦入試」に名称を変更した。また、二次募集では、これまでの一般入試に、機関長推薦入試と学内推薦入試*を追加設定し、受験機会の拡大に努めた。令和 2 年度入試（令和元年度実施）では、一次募集で学内推薦 1 名、一般 5 名の計 6 名が、二次募集で一般 9 名（転入学 1 名含む）が合格した。分野・コースの内訳は、修士論文コース 10 名、CNS コース* 5 名（うち 3 名は令和 2 年度新設の老年看護 CNS*）であった（機関長推薦入試、臨地*教育者コースの受験者はなし）。		

(教育研究以外の項目)

番号	年度計画	実施状況等	法人 評価	委員 評価	委員コメント	委員会 評価	評価委員会 の判断理由
32101	〈適切な人材マネジメントの実施〉 教員活動評価・支援制度、昇任申請基準、採用選考に係る審査基準等の人事制度を適切に運用するとともに、点検・評価を実施し、必要に応じて制度改善を行う。	教員活動評価・支援制度に基づき、「教員活動計画表」を活用して各教員が自己点検・評価を行うとともに、学長及び上位教員が対象教員との面談・評価を行い、適切に人材マネジメントを実施した。また、「昇任申請基準」、「採用選考に係る審査基準」等に基づき適切に審査し、2 名を昇任させ、2 名を採用した。	III				